

## 私の留学体験記

広島県立高陽東高等学校 2年 富田 采実（とみだ ことみ）

留学期間 令和6年3月2日～令和6年3月15日(14日間)

留学先 Tauraroa Area School (ファンガレイ、ニュージーランド)

私は今回の留学を通してたくさんの気づきを得ることができました。

まず1つ目は、積極的に行動することの大切さです。私は最初のころ、ホストファミリーにあまり話しかけることができませんでした。けれど、一緒にホームステイしていた友達がホストファミリーにたくさん話しかけていてそこから会話ができていました。その様子を見て、話しかけてもらうのを待っているのではなく、自分から話しかけてみようと思いました。簡単な質問をしたり、知っている単語をつなげて話してみたり、ジェスチャーを使って話してみたりしました。すると、知らなかったことを知れたり少しだけだけれど会話ができたりしました。一生懸命何かを伝えようとすることで、相手も理解しようとしてくれました。また、現地の学生にも話しかけることで仲良くなれたり、話しかけてくれるようになりました。この経験から、積極的に行動することには勇気があるけれど、新たな発見ができたり、良い方向に物事が進んだり、そのことで自分自身に自信がつくのだと気づきました。

2つ目は、新たなことに挑戦してみるものの大切さです。ニュージーランドにホームステイに行くのも大きな挑戦でしたが、食べたことのないフルーツやニュージーランドの伝統料理を食べたり、ホストファミリーと一緒に料理をしたり、やったことのない「ピッケルボール」というスポーツをしたり、様々なことに挑戦しました。またマオリ語を教してもらったり、マオリの文化である「ポイ」という道具を使ったダンスを踊ったり、マオリのシンボルである「釣り針」の形のネックレスを作ったり、ニュージーランドでしか味わえないことをたくさん経験することができました。

ニュージーランドで2週間過ごすことで、日本とは違う考え方や文化の違い、生活の違いなどを知ることができ、考え方を広げることができました。最も日本とは違うと感じたことは、ニュージーランドの人は自分自身を大切にしている、全てにおいて余裕があり、人々が生き生きと生活していることでした。私も自分の軸をもって生きていきたいと感じました。これらの貴重な経験をさせていただいたことに感謝し、これからの生活に活かしていきたいです。

